



I GOT IMMOBILIZED  
INTO A GAY RING WORLD



…なんで？

なんでこんなに  
魔物が出るのーッ!!

とりあえず  
このすきに  
前回のあらすじ  
やっときますねー

おいこら  
天の声!!!

主人公  
萩洋一が  
なぜこんなところに  
いるのか

それは

今悠長に前回までの  
あらすじしてる  
場合じゃねえだろ

ここは  
ゲイ向けRPGの  
世界



あろうとか  
歩きスマホをして

トラックに轢かれ  
事故死したことから  
始まる！

だから  
今魔物襲って  
きてんだってば！  
こんな時にやめろ！  
前回のあらすじは！

死んだと  
思っていた  
萩洋一は

突如として  
聞こえた  
天の声（つまり私ですが）の  
導きにより

転生することと  
なった！

大地に宿る  
しかも  
このゲイ向けRPGは  
実は天の声（私ですが）により  
制作されたもので

今こそ我の  
体に宿り  
解き放て

魂をサルベージ  
出来るゲームに  
なっている

あのさ  
今ミカエラさんが  
呪文唱えてんだから  
セリフ被せんって



すなわち  
萩洋一は  
この世界をクリア  
しないとは

次の転生先に  
いけないのである！

お前の  
セリフ被せは  
とどまることを  
知らないな

何故か  
この世界では  
勇者の証と  
されており

しかも  
彼のつけていた  
ネクタイピンが

好き勝手放題  
エロいことを  
する萩洋一!!!

それをいいことに  
この世界の  
キャラを使って

うるせえな  
そこはいいだろ  
別に





果たして  
彼はこのゲームを  
クリアし

無事  
次の転生先に  
いけるのか!?

もう  
なんか合ってきたな  
コマ画面に説明が





乞うご期待！

ほんと  
全部に被せて  
きやがったな

ということ  
私こと天の声は  
今絶賛寝不足中なので

こころへんで  
失礼して  
寝ます

さっさと消えやがれ  
邪魔だけしやがって

そういえば  
「黒の存在」に  
ついて  
あれから  
動きは  
ないですか？

……ああ  
まったく

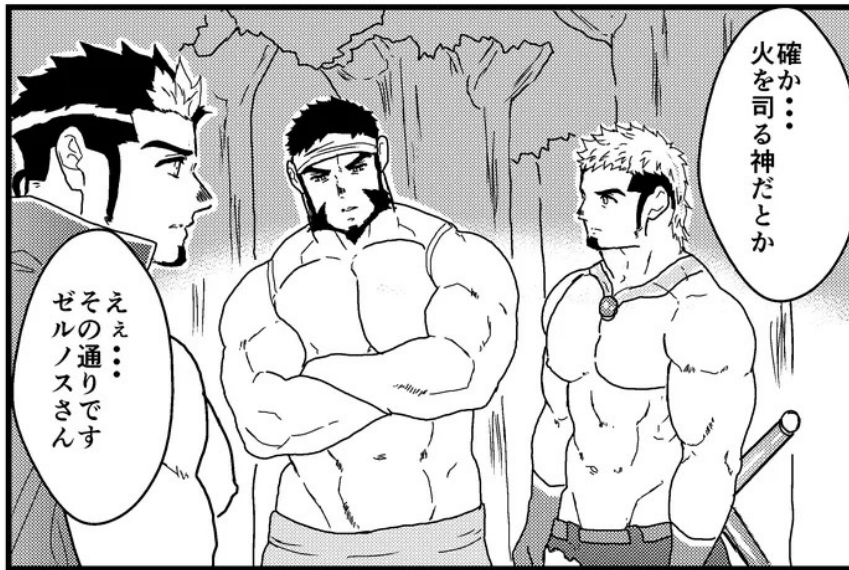
そうですか……  
また動きがあるようなら  
知らせてください

私も彼については  
調べていますので









確か…  
火を司る神だとか

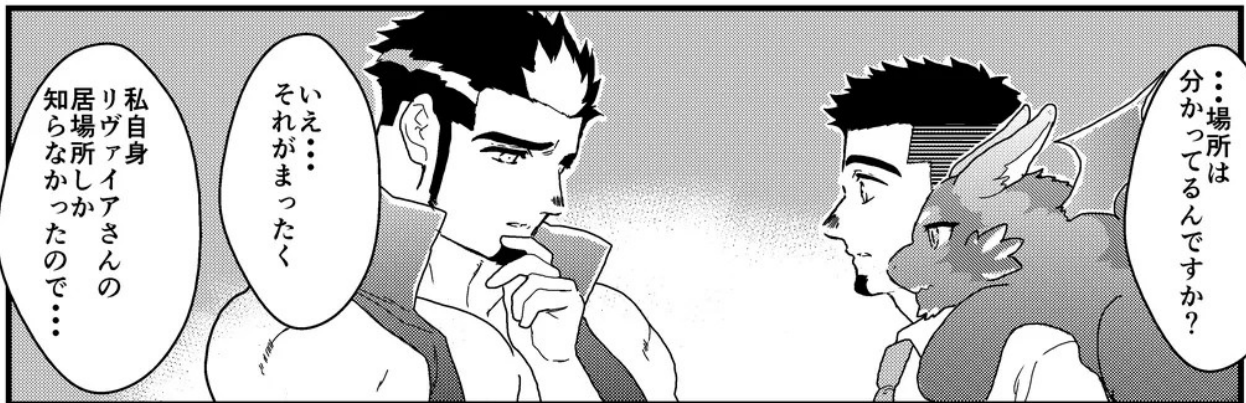
ええ…  
その通りです  
ゼルノスさん



ところで  
ミカエラ

次の神が  
最後になるんだよね？

…はい  
ガルグさん



…場所は  
分かっているんですか？

いえ…  
それがまったく

私自身  
リヴァイアさんの  
居場所しかなかったの…



この世の  
三大神である  
私たち

私の真の姿である  
水の神  
リヴァイアサン

この俺の真の姿  
地の神  
タイタン

そして残るは…

火の神  
プロメテウス



場所なら  
俺たちが  
知ってるぜ

タイタンさん…













…結構  
口のキツイ  
鍛冶屋さん  
でしたね…

しかし  
本物の職人とは  
本来あいう人柄を  
さしているのかもしれん

ああ  
俺も別に  
嫌いやないぜ  
あいう奴は

ああ…

私もです  
自分の仕事に  
しっかり責任を  
持って取れる姿が

俺も拳に鍛錬を  
積む身…  
似たものを感じる

ま  
俺は神だからな  
本来なら  
人の営みを見守るもの

あんな奴が  
いてもいいと  
思うぜ

…みなさん  
肯定的ですね…

勇者様は  
そうでも  
ないのですか？

俺はどっちかっていうと  
体つきや顔つきだったり

あとは  
あのぶっきらぼうな  
性格が夜になると  
甘えた声で  
「俺…我慢できねえ」  
なんて言ってる  
喘ぎ抱きついてくる  
色っぽい  
姿だったり…

…なにを  
言っている？

…勇者よ…

まさか  
おめえ…

ち…  
違いますよ！  
や、やっぱ職人  
すげーつすよね  
マジリスベクト！

明日  
ガルグさんの  
剣を取りに  
行かないと……ッ

そうだな！  
明日が  
楽しみだ！

ゆつくり  
体を休めることに  
しましよう

あゝゝゝ  
また魔物が  
襲ってきたときの  
ために  
拳を休ませて  
おくかゝゝ

⋮  
?

お？

起こしちゃったか？

タイタンさん！  
なに……



言っただろ...?  
おめえとの  
交わりが  
忘れられねえってよ...

それに...

俺という神を  
差し置いて...ッ

あの鍛冶屋の男を...  
エロい目で見やがって...ッ

おめえに  
分らせてやる...ッ

俺がどれだけ  
おめえのことを  
欲してるのかをよ...ッ

なんということだ...ッ

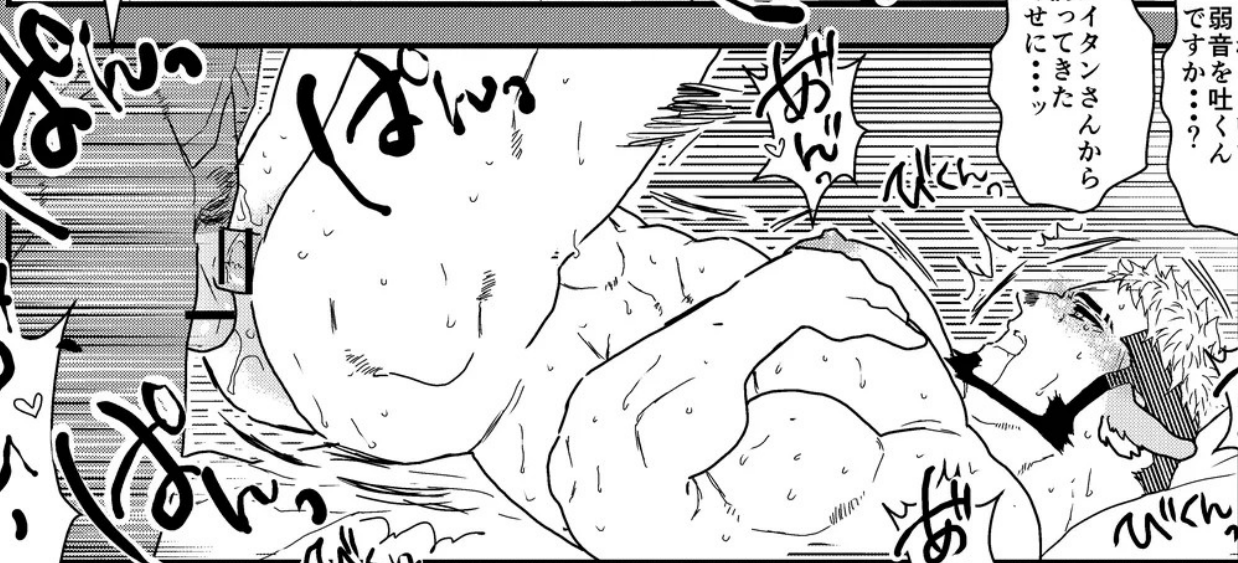
今までこんな  
タイプな男に  
取り合われたことのない  
俺が...ッ











タイタンさんから  
誘ってきた  
くせに...

これくらいで  
弱音を吐くん  
ですか...?







り…  
リヴァイアさ…ッ

言っただ  
タイタン

こやつは  
私の勇者でも  
ある

決して  
抜かぬと…

…けッ

見ろよ…

今勇者は  
俺に興奮してる

おめえには  
何の関心も  
ねえんだよ…

かたあい肉棒が  
ずっぽり  
奥まで入って  
腹が苦しいくらいだ…

キッパッ

キッ

ふっ…♡

ふっ…♡

ふっ…♡





…ならば  
決めてもらう  
までだ

…へ？



あ…あの  
リヴァイアさん…

これは…  
違う…ッ

そうか



リヴァイアさん…？  
口調が…

だから  
嫌いなんだよ  
おめえは

すぐ  
キレやがる…



四の五の  
言うんじやねえ！

早くしやがれ  
一発屋芸人野郎!!!

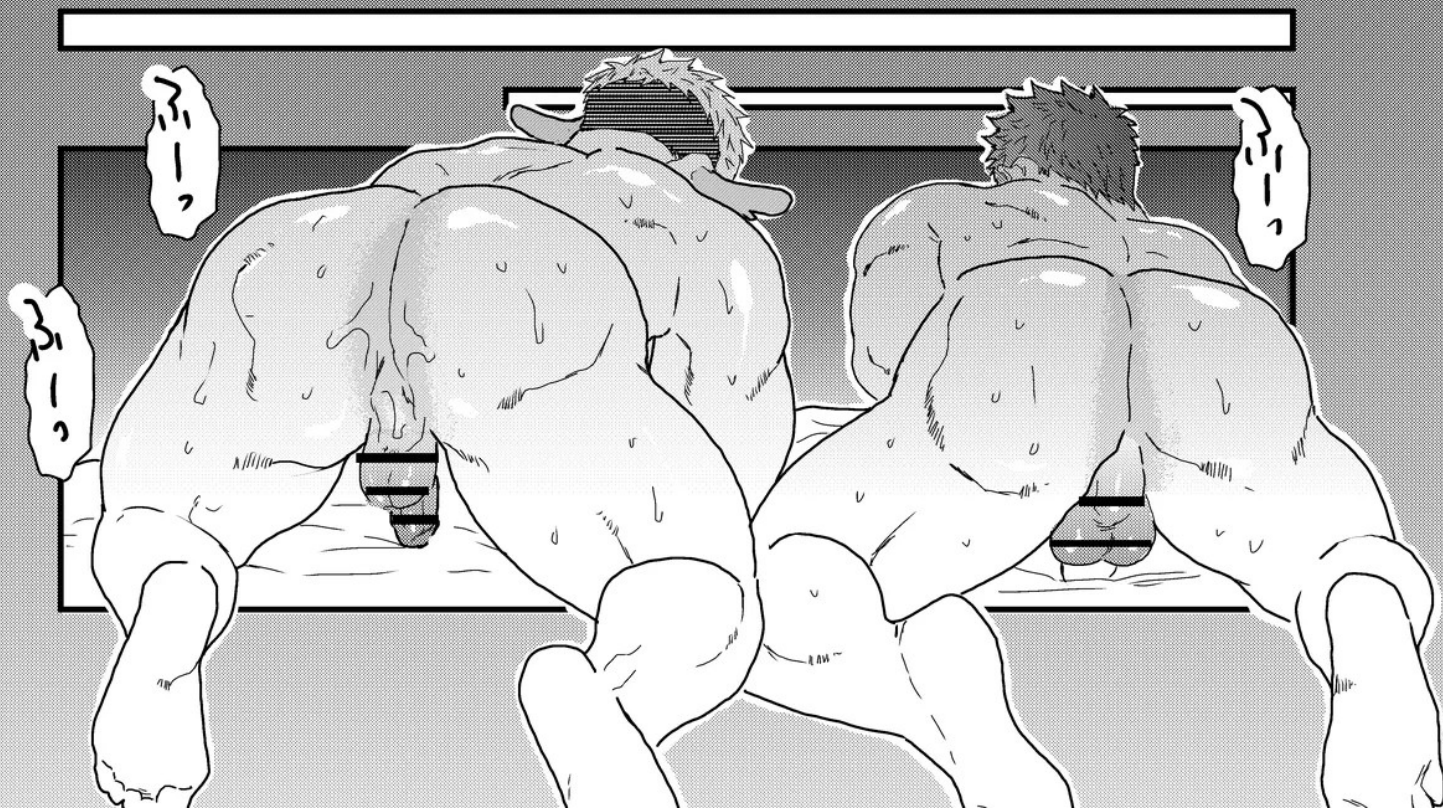
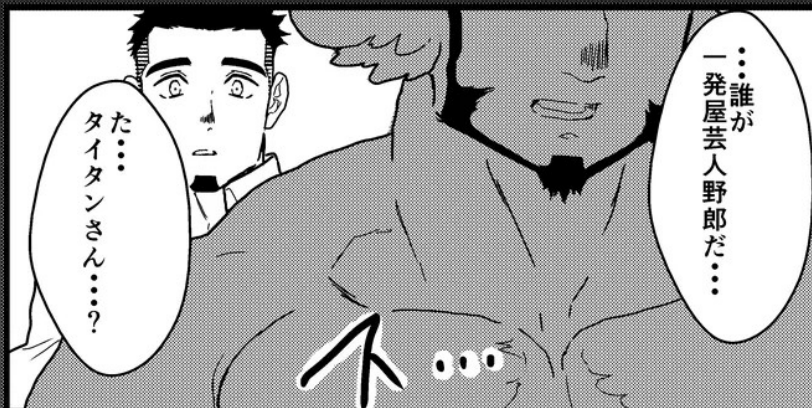


これ以上  
タイタンごときに  
勇者を奪われて  
たまるか

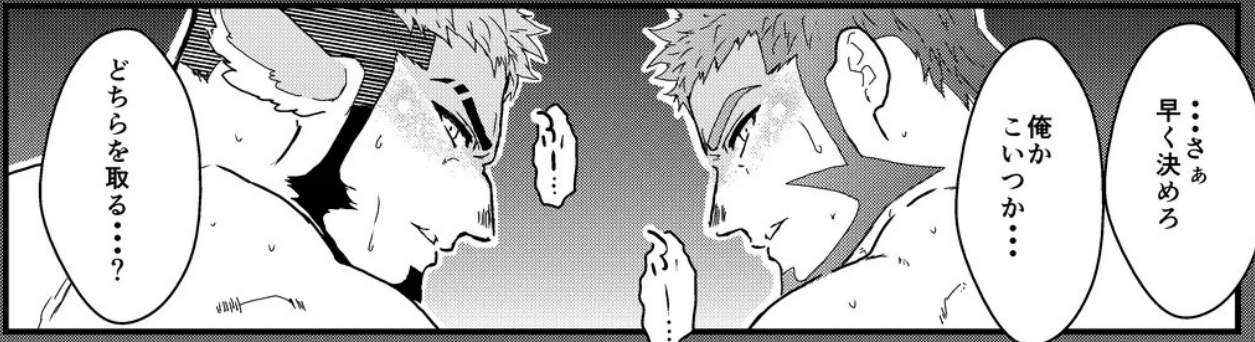
俺か  
タイタンか

さっさと決めやがれ  
勇者…

















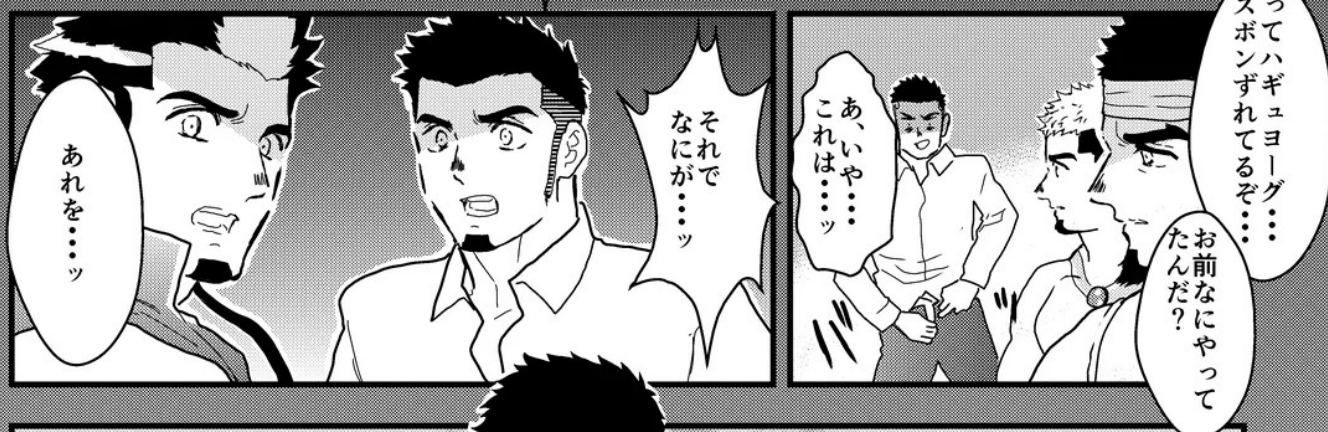
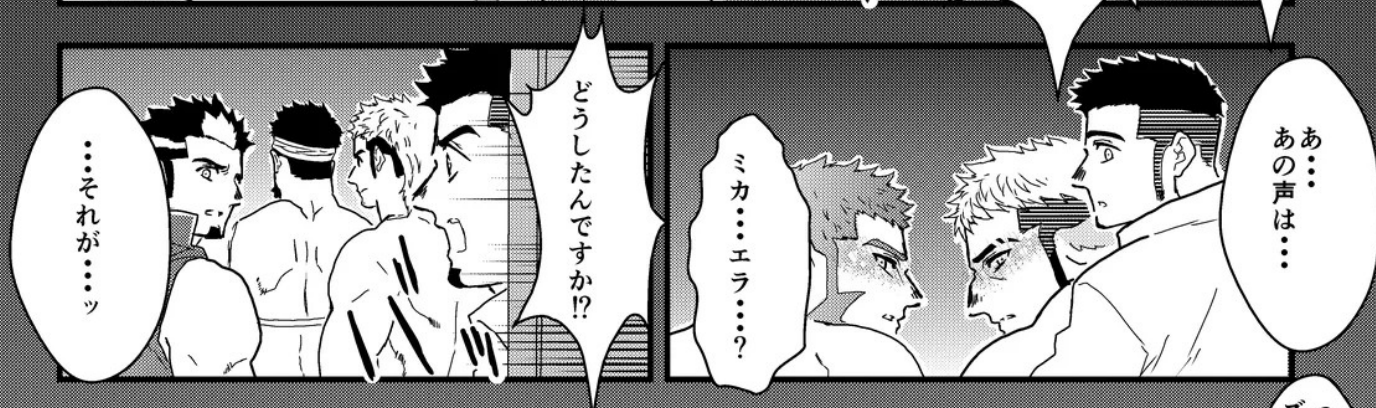
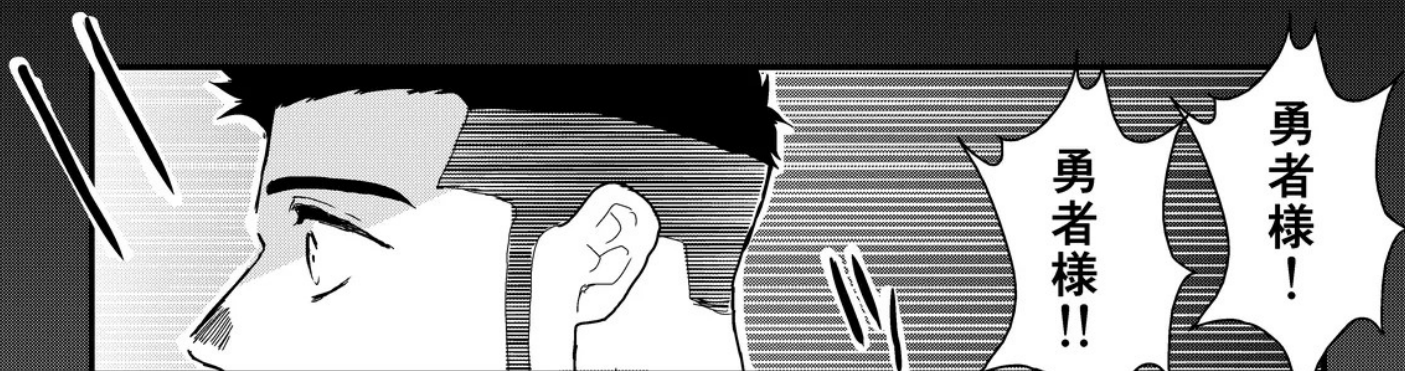








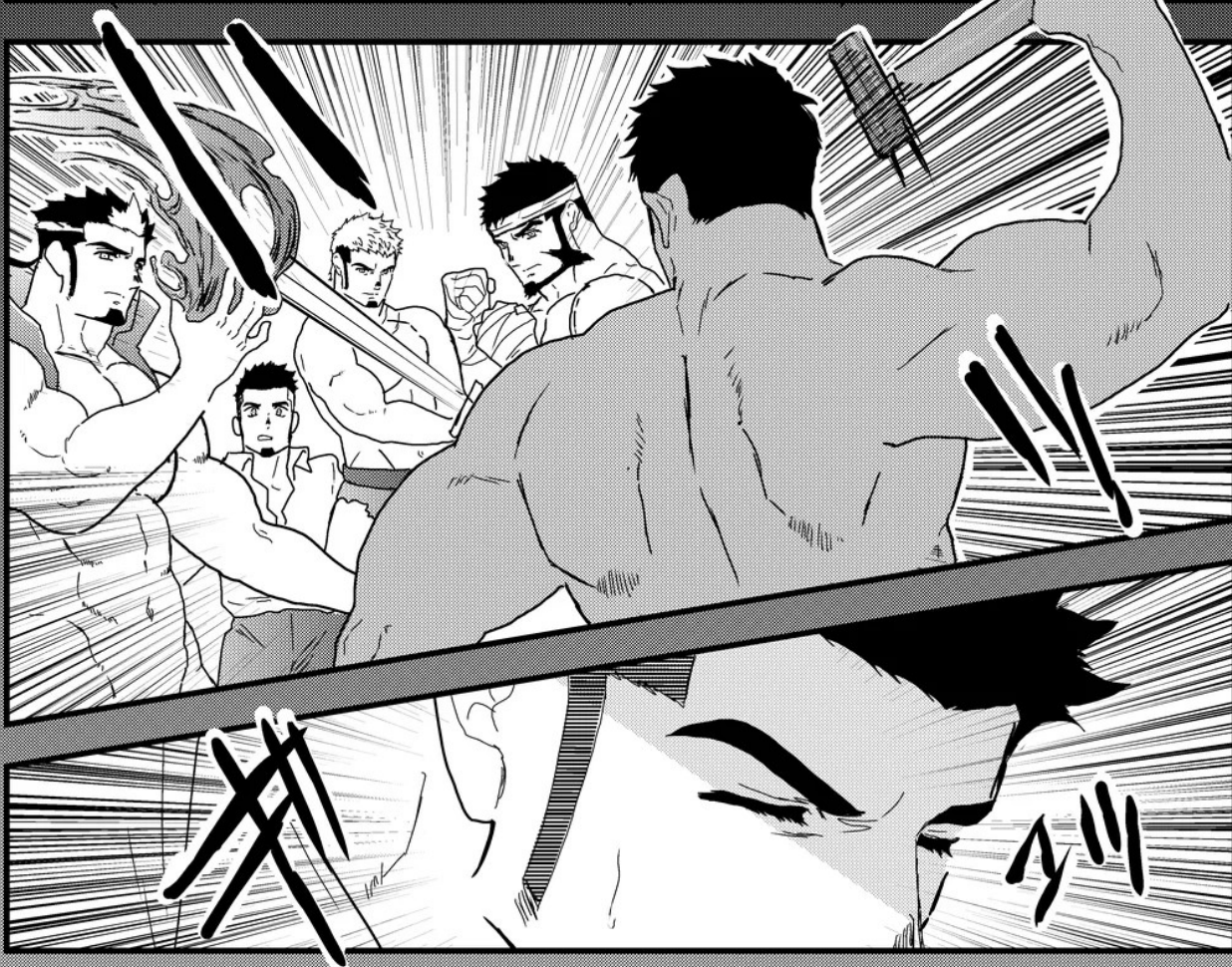








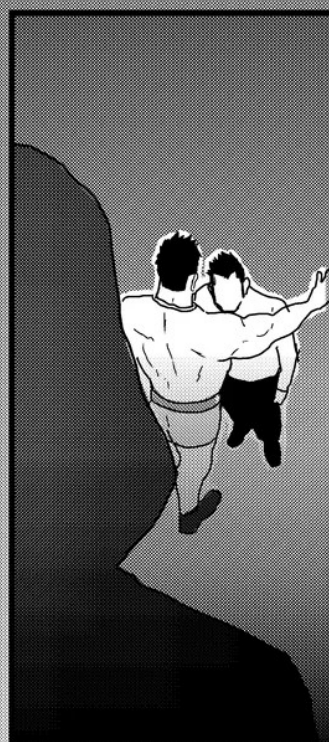
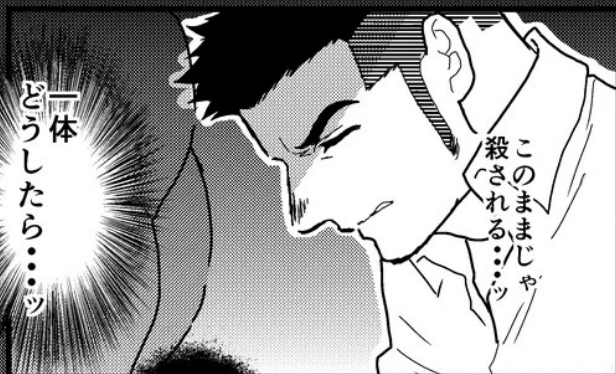












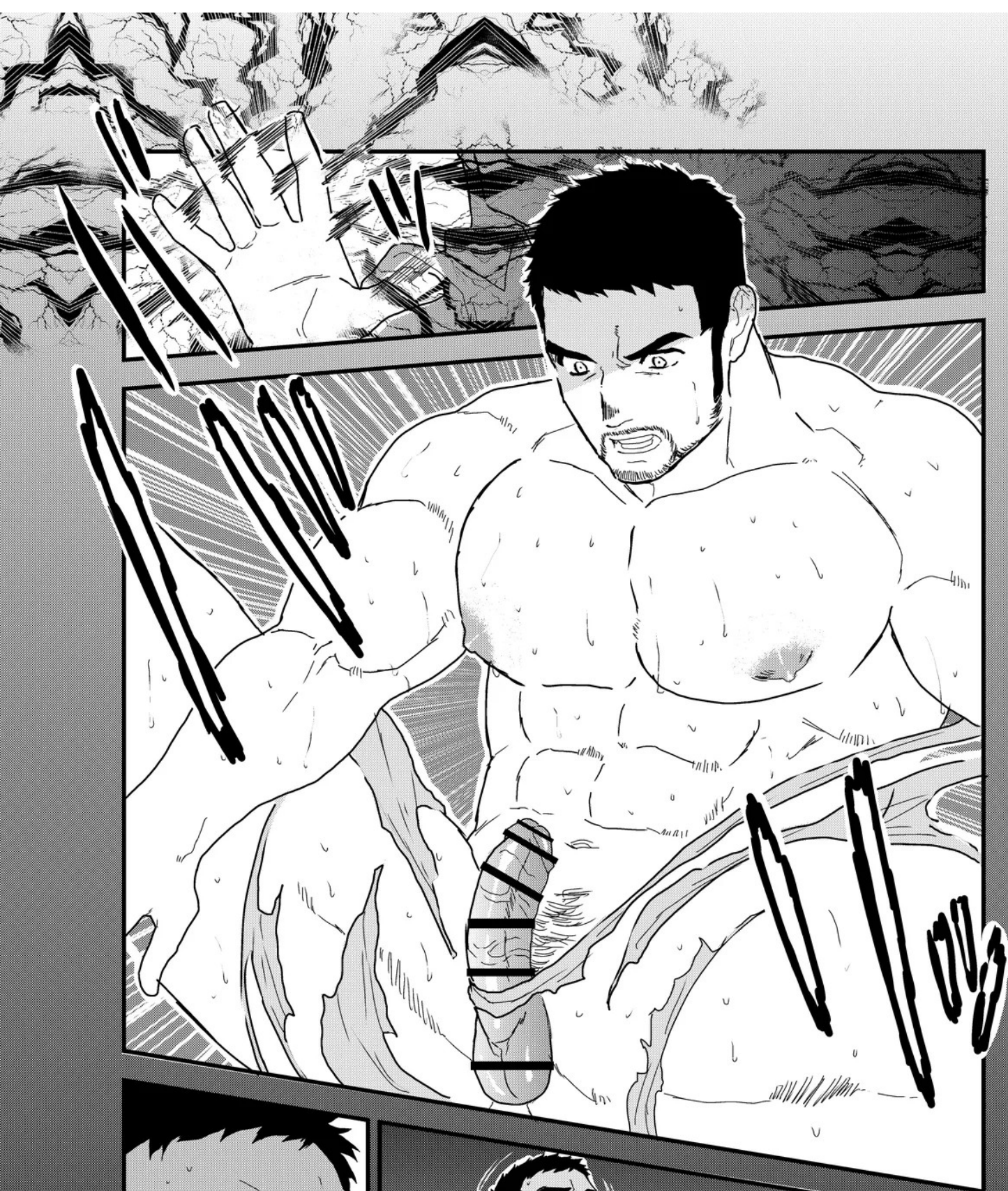














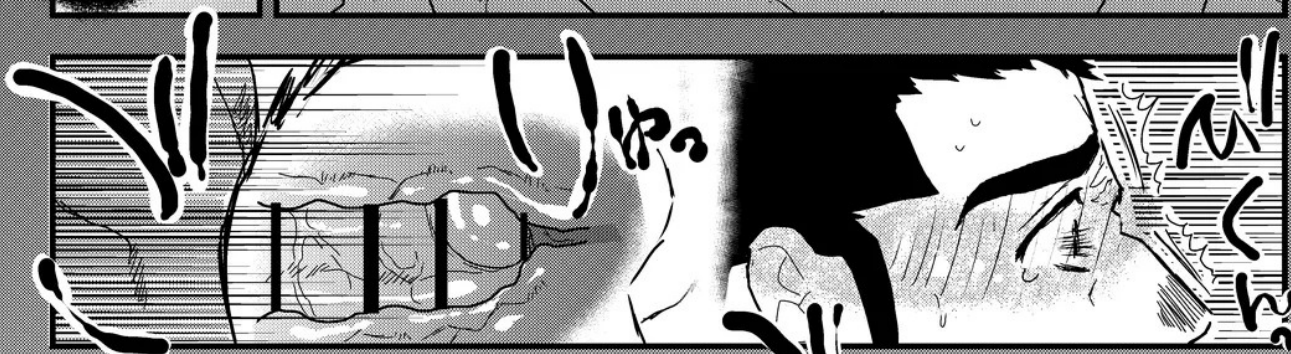


大人しくしろ

俺に従えば

……ッ

すぐ  
気持ちよく  
してやる











身体は  
正直なようだな

どれだけ  
頭で拒んでも

やあ  
あ  
あ

はっ  
はっ  
はっ

ぐ  
ぐ  
ぐ

はっ  
はっ  
はっ

はっ  
はっ  
はっ







そろそろ  
お前も  
欲しくなって  
きただろう

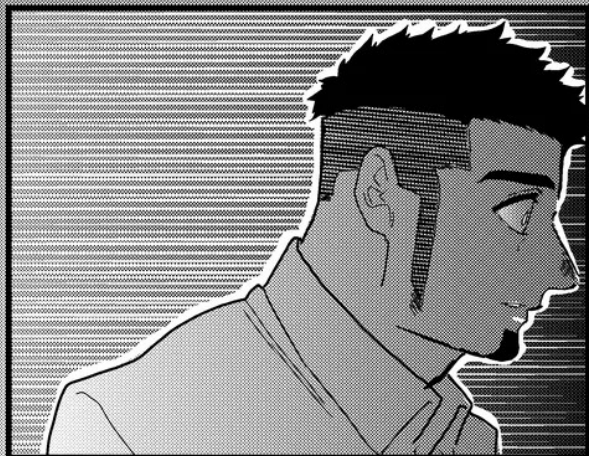
俺が  
沢山  
刷り込んで  
やる...







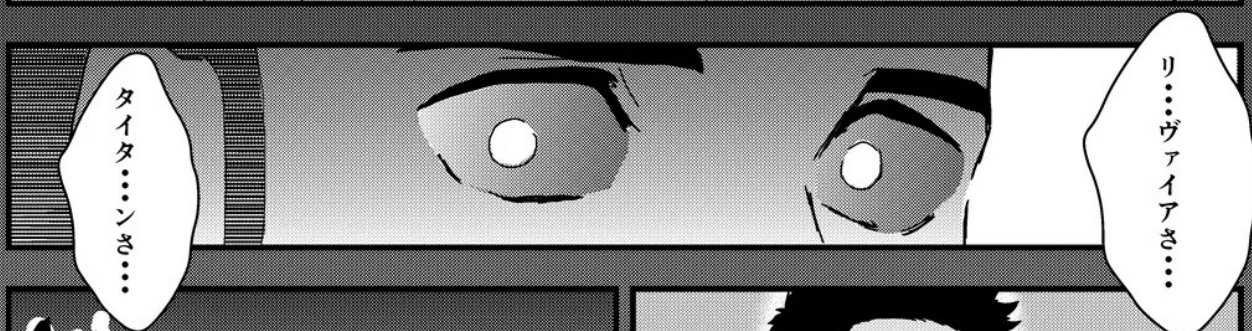




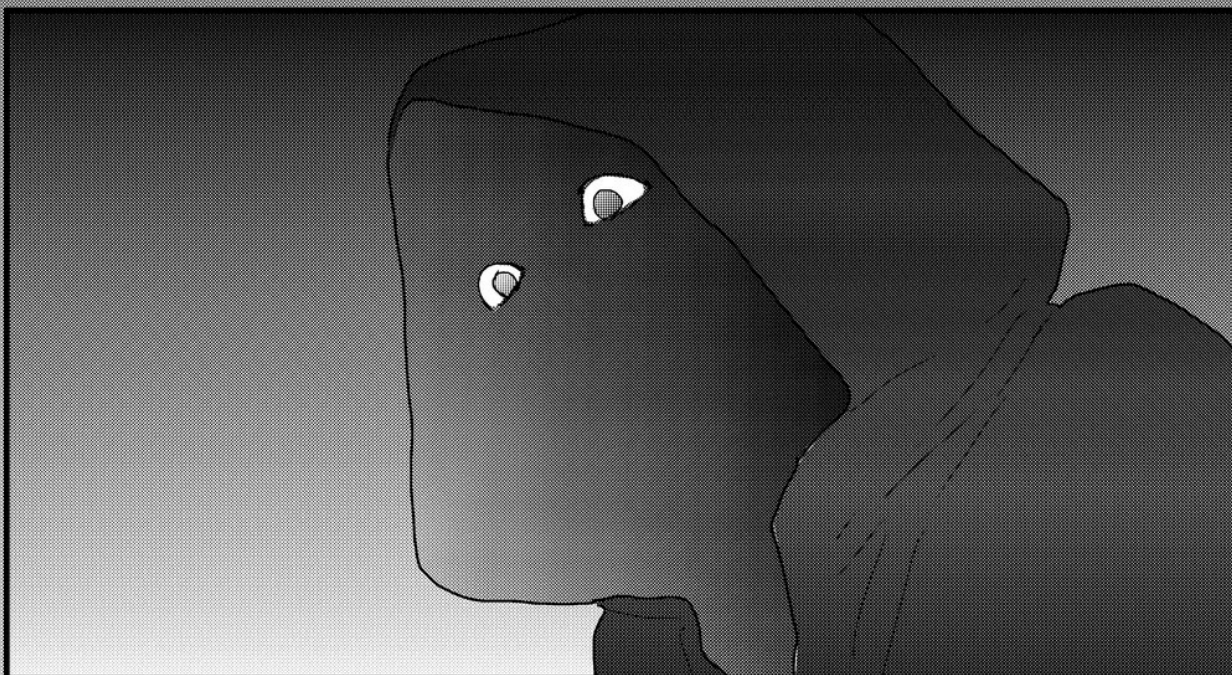
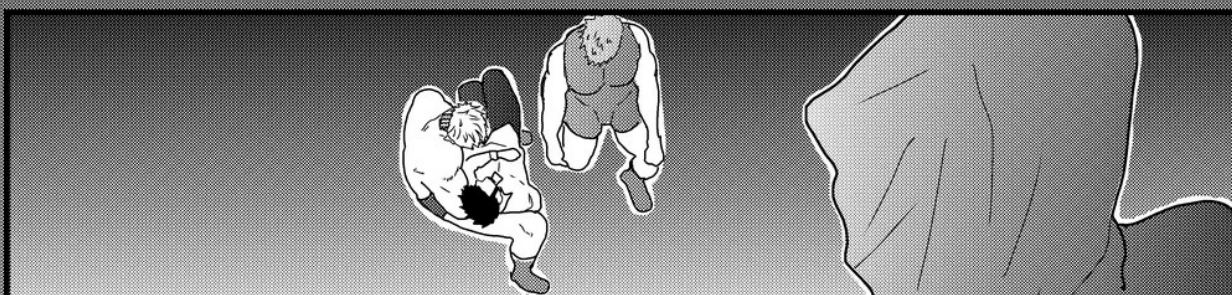




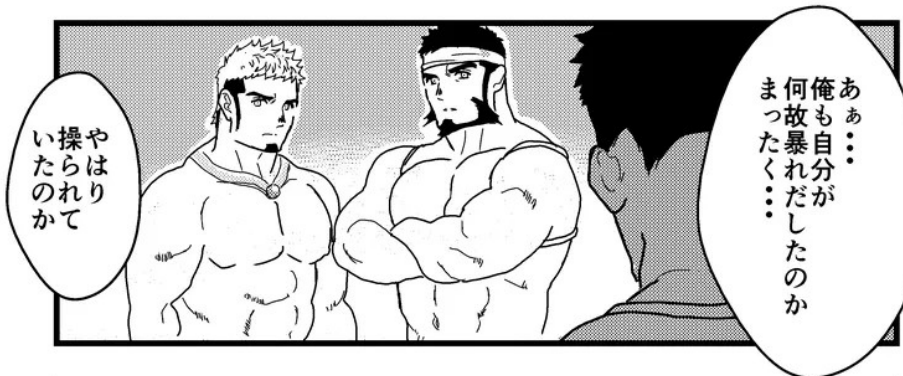
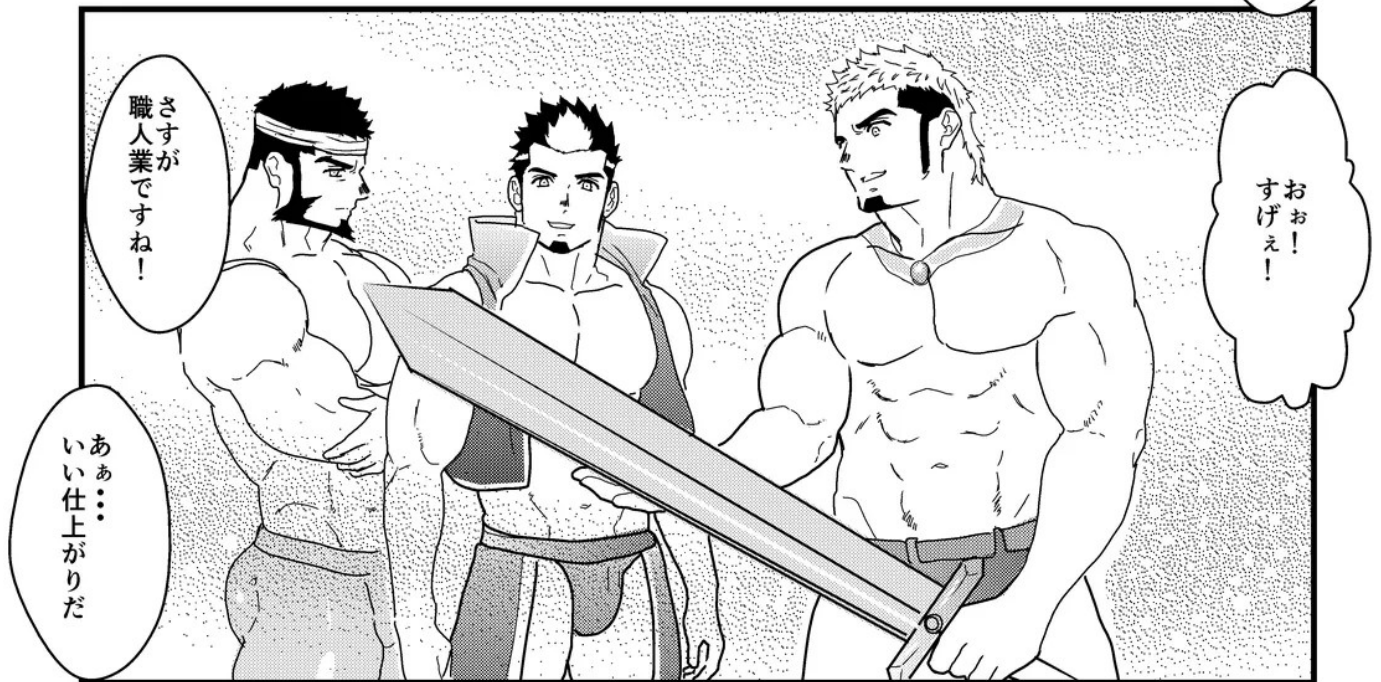
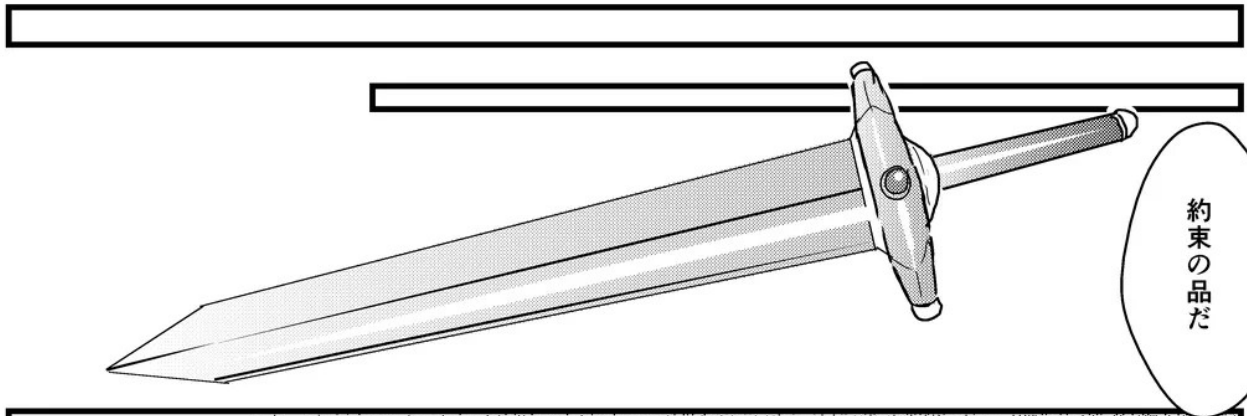




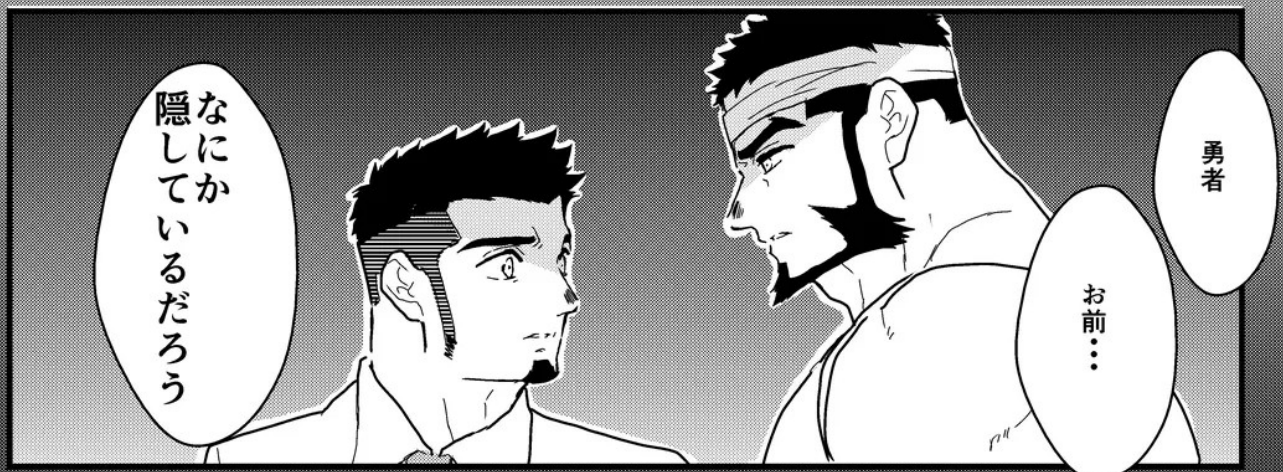
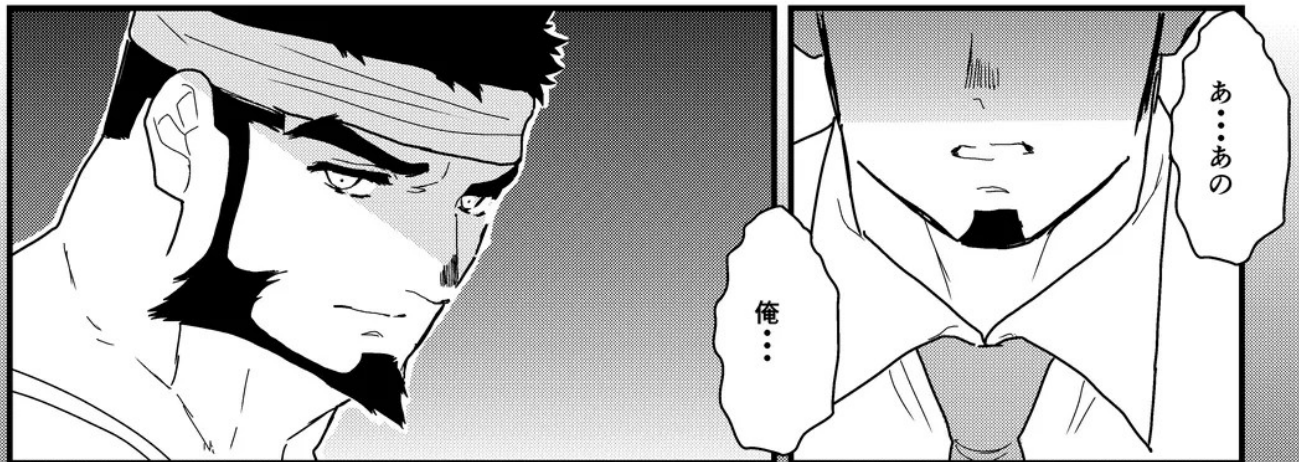








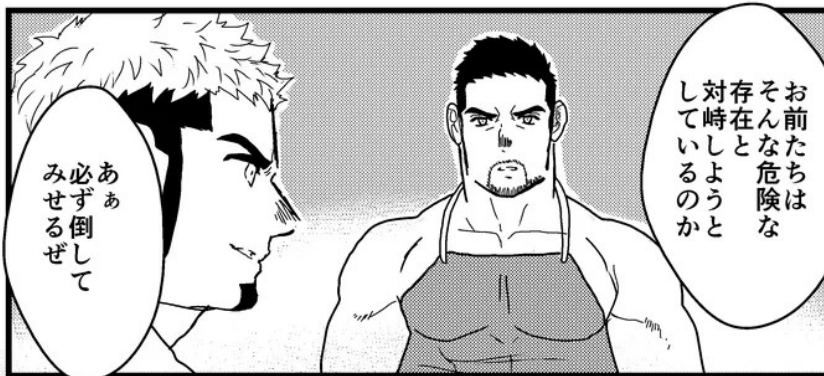
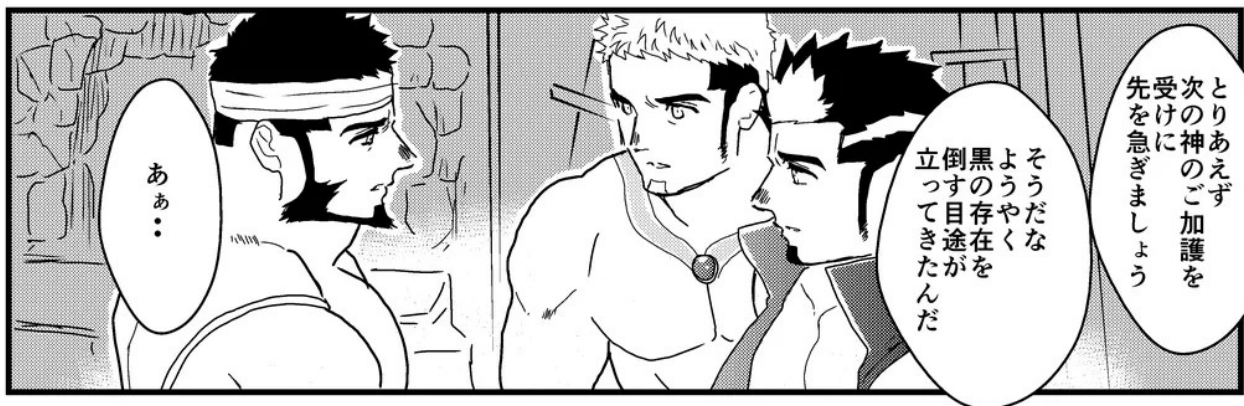
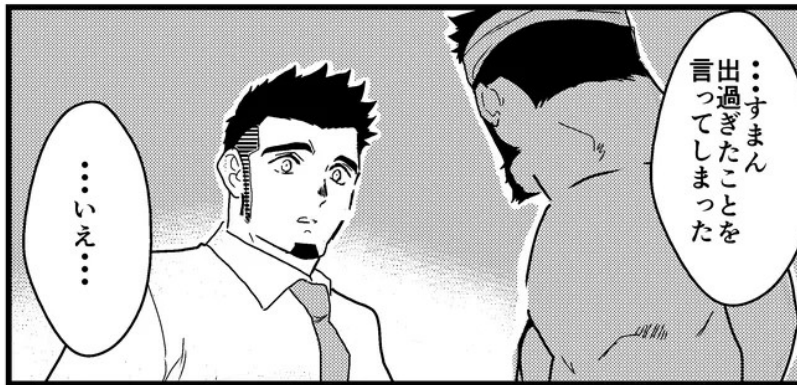




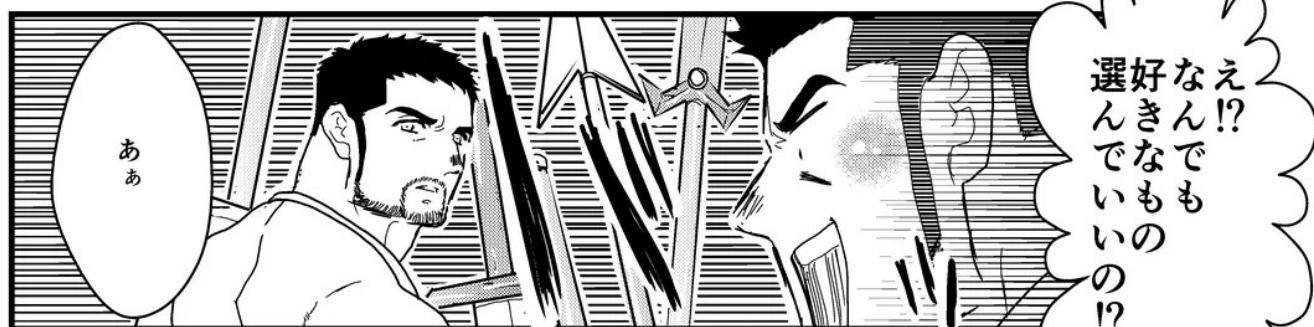




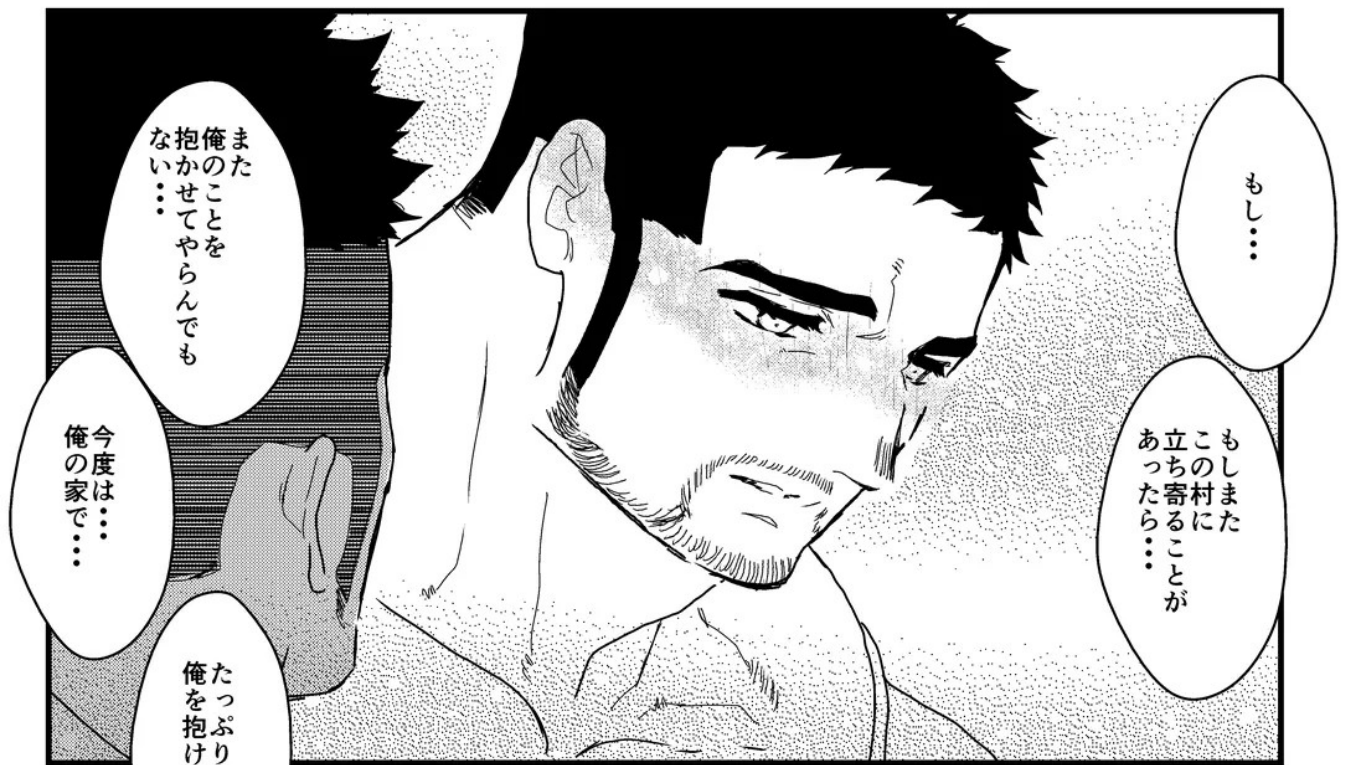
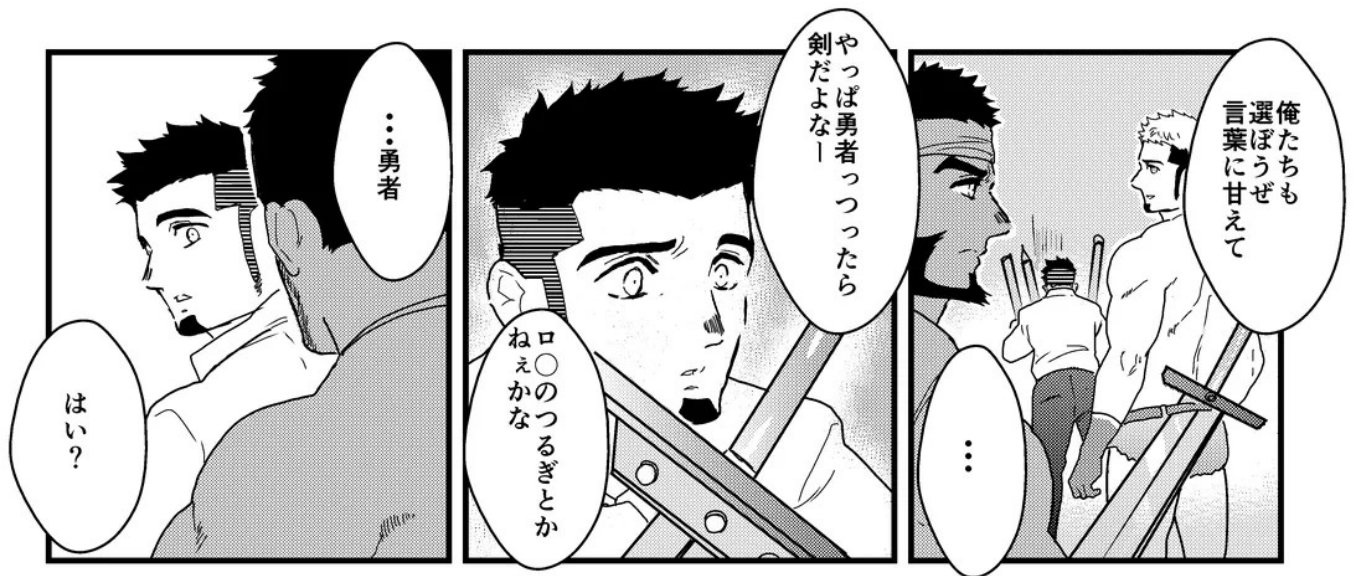




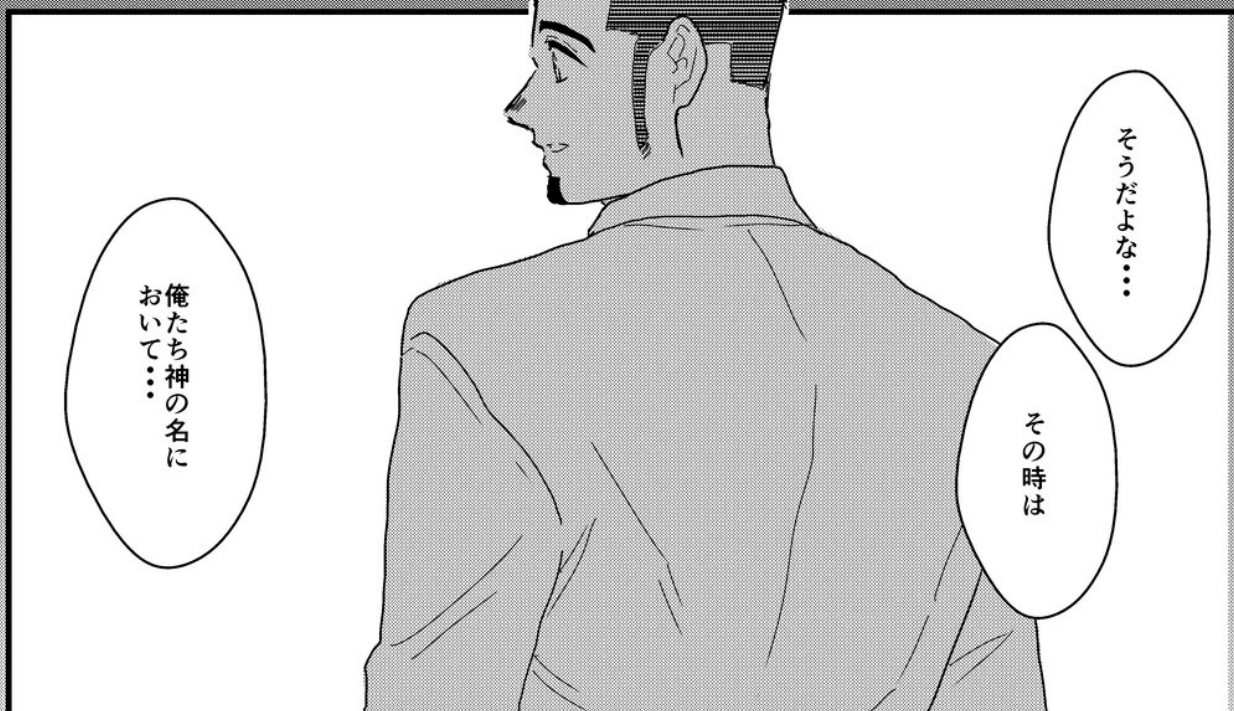
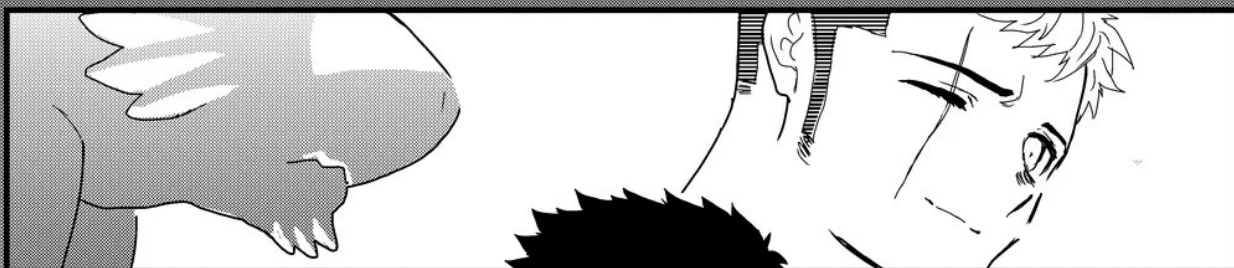
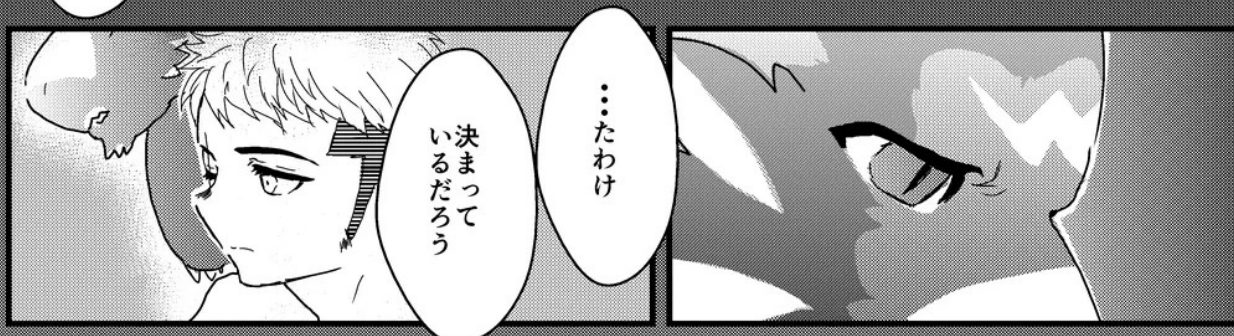
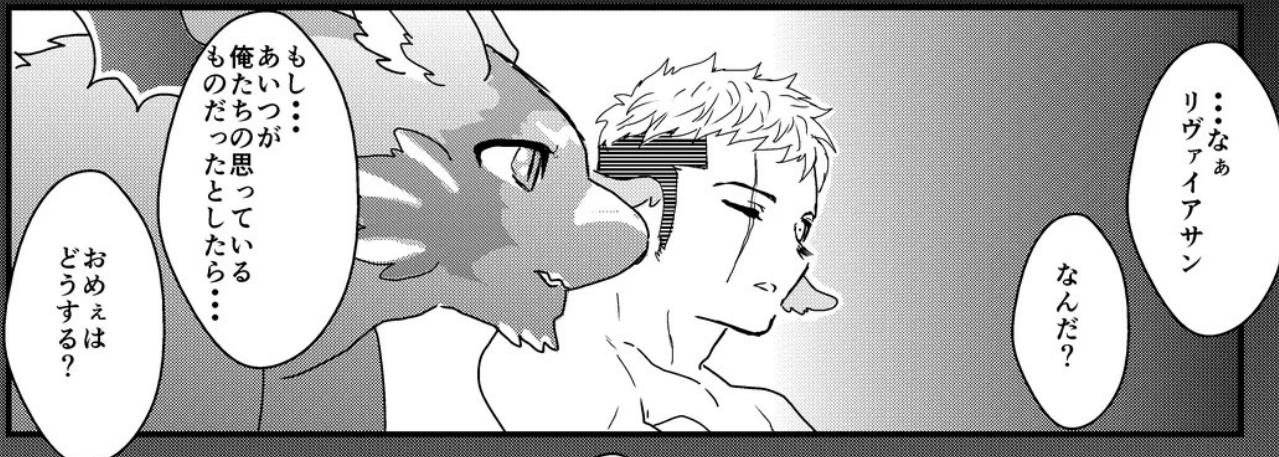




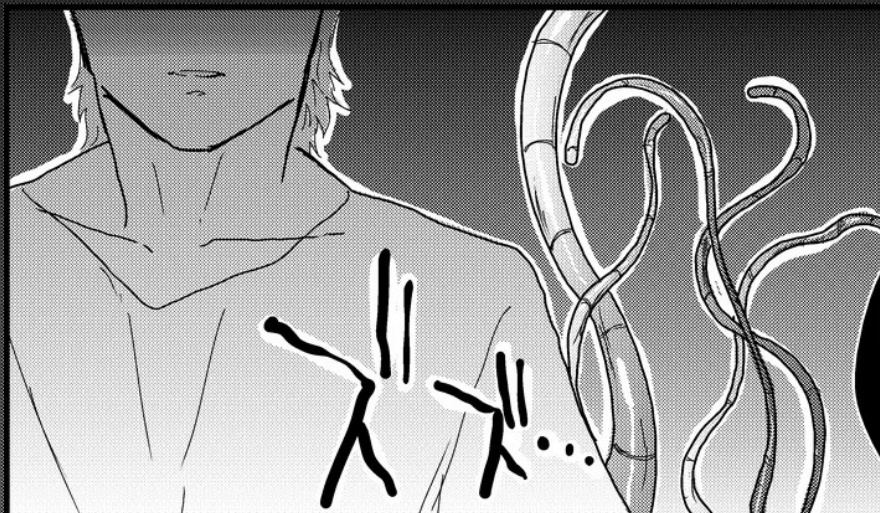












RPGの  
世界は  
どうな  
って...





